

第64回企画展

但馬地域の 農耕起源を探る

2026.

4月17日(金)

～

7月14日(火)

豊岡市立歴史博物館 — 但馬国府・国分寺館 —

豊岡市立歴史博物館
Toyooka City History Museum - Tajima Kokufu and Kokubanji Hall
但馬国府・国分寺館



〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布808 TEL: 0796-42-6111

休館日 …水曜日(4/29, 5/6は祝日のため開館、翌木曜日休館)

開館時間 …午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 …一般500円、学生300円、小中学生250円

*兵庫県内の小中学生はコロナカード提示で無料*障がい者手帳などをお持ちの方は半額*20名以上の場合は団体割引あり



Toyooka
Art
Season

みらい応援
対象事業

参加事業

但馬地域の農耕起源を探る

今から約3,000年前、大陸から九州に伝来した稲作は日本全国へと広がり、農耕を社会基盤とする弥生時代が始まります。但馬においても弥生時代の遺跡は多く確認されており、中でも豊岡市駄坂に所在する^{ださかかわはら}駄坂川原遺跡は2024年11月に神戸女子大学とパリノ・サーヴェイ株式会社が行った調査において、稲を中心とした栽培植物の種子が見つかり、但馬最古の農耕遺跡であることが明らかとなりました。現在の豊岡盆地でみられる広大な田園風景の原点となった遺跡です。

展示では、農耕が始まった頃の駄坂川原遺跡ではどのような生活をしていたのか。そして農耕が始まったことによって社会がどのように変化したのかを探ります。



モミ圧痕のついた土器 (駄坂川原遺跡出土)



米作りの道具 (駄坂川原遺跡出土)



駄坂川原遺跡で発見された稲の穎果・モミ (写真提供:パリノ・サーヴェイ株式会社)



神戸女子大学とパリノ・サーヴェイ株式会社による駄坂川原遺跡の調査 (写真提供:神戸女子大学)

関連イベント



■講演会

「駄坂川原遺跡の調査からみた但馬農耕の起源」

駄坂川原遺跡の調査成果から当時の農業の様子を講演します。(講演会後に担当学芸員の展示解説あり)

日時	6月13日(土) 13時30分~15時
講師	齋藤 瑞穂氏(神戸女子大学文学部史学科 准教授)
会場	歴史博物館 総合学習室
参加費	聴講のみは無料 展示をご覧になる場合は入館料が必要
定員	先着30名(要予約)
予約	4/17(金)9時~定員に達するまで、当館のホームページより申込み、アクセスできない方のみ電話受付可

■展示解説

担当学芸員が展示内容を詳しく解説します。(両日時ともに内容は同じ)

日時	4月25日(土)、7月4日(土) 両日10時~、14時~
場所	歴史博物館 企画展示室
予約	不要

※聴講には入館料が必要

■土笛をつくろう!

駄坂川原遺跡からも出土している、弥生時代の陶埴を模した土笛を作ります。オーブンで30分ほど焼いてお持ち帰りいただけます。



日時	5月6日(水) 10時~、14時~ (焼成を含め約2時間を予定)
場所	歴史博物館 体験学習室
参加費	300円(材料代)
定員	各回先着6名(小学校4年生以上、要予約)
予約	4/17(金)9時~定員に達するまで、当館のホームページより申込み、アクセスできない方のみ電話受付可

交通案内

●鉄道の場合

JR山陰線「江原」駅下車、西へ徒歩15分

●お車の場合

北近畿豊岡道「日高神鍋高原」インター下車、東(右)へ約500m



ホームページ



Facebook



〒669-5305
兵庫県豊岡市日高町祢布808
TEL: 0796-42-6111
FAX: 0796-42-6112